

世界保健機関(WHO)のための 「新型コロナウイルス感染症連帯対応基金」 日本での募金活動開始から2か月で寄付金10億円超に到達

- ・「新型コロナウイルス感染症連帯対応基金」は WHO の新型コロナ対策を支える最大級の資金源
- ・6月22日 WHO 発表：全世界における1日あたりの新規感染者数は過去最多
- ・新型コロナウイルス流行収束に向けた国際的な“連帯”は、引き続き喫緊の課題

公益財団法人 日本国際交流センター(理事長・大河原昭夫、以下、JCIE)は、世界保健機関(WHO)が主導する新型コロナウイルスとの闘いを支援するグローバルな募金キャンペーン「WHO のための新型コロナウイルス感染症連帯対応基金」(以下、本基金)の日本国内の募金機関としての活動を、4月上旬より開始しています。本基金は、企業、団体および個人が WHO の新型コロナウイルス対策に直接寄付できる唯一の方法です。

本基金への全世界からの寄付総額は2億2240万ドルに達しました(6月22日時点)。現在、本基金は、WHO の新型コロナウイルス対策を支える最大級の資金源となっており、すでに WHO とそのパートナー機関に送られ、各国の医療現場で使う个人防护具や検査キットを届け、様々な調査研究に活用されています(詳しくは2ページ目をご覧ください)。日本でも、本基金への募金活動開始2か月で、日本企業・団体、そして個人の皆様から10億円以上の寄付金が寄せられています。



6月22日の記者会見で WHO 事務局長テドロス・アダノム氏は、前日の新規感染者が過去最多の18万3,000人超に上った*と発表しました。WHO の健康危機対応プログラム責任者であるマイケル・ライアン氏は、「新規感染者の増加は、パンデミックがいくつもの人口の多い国で同時にピークを迎えているという事実によるもの」と述べ、状況は中南米をはじめ、南アジア、中東、アフリカなど多くの国で「間違いなく加速している」と付け加えました。新型コロナウイルスの収束に向け、必要な医療物資を届け、保健システムが脆弱な国を支援し、そして治療薬やワクチン等の研究開発を加速するために WHO は17億ドル(約1836億円)を必要としています。

*[WHO Coronavirus Disease \(COVID-19\) Dashboard](#)にて最新の世界の状況がご覧いただけます。

JCIE 執行理事である伊藤聡子は、「日本で感染が収束しても世界のどこかで感染が拡大している限り、新型コロナウイルスとの闘いは終わりません。世界中が連帯し、各国の医療従事者を支援し保健医療の基盤を守るため、皆様からの温かいご支援を、引き続き受け付けています」と述べています。

—お問い合わせ先—

(公財)日本国際交流センター WHO のための新型コロナウイルス感染症連帯対応基金 担当
本基金の最新情報は、[特設ウェブサイト](#)にてアップデートいたします

Tel: 03-6277-8309 E-mail: covid19fund_j@jcie.or.jp

参考資料① <本基金の寄付の活用先：「成果レポート」>

本基金に寄せられた寄付は、WHO の活動に役立てられているほか、WHO が新型コロナウイルス対策を実施するために不可欠なパートナーであるユニセフ(国連児童基金)、ワクチン開発の CEPI(感染症流行対策イノベーション連合)等にも、WHO の要請に基づき送られています。

本基金の特徴の一つは、緊急時に求められる迅速で柔軟な資金の提供と、民間財団によるタイムリーな情報提供にあります。募金開始から7週間までの成果をまとめたレポートが5月末に発行されており、今後も定期的なレポートの発行が予定されています。第1回目のレポートでは、当基金の支援の柱と、当基金の支援を受けたWHOとパートナー機関での主な成果がまとめられています。5月レポート和訳版は[当サイト](#)からご覧いただけます。



参考資料② <本基金の寄付の活用先：WHOの主な活動>

WHOは加盟各国による新型コロナウイルスへの備えと対策を支援し、感染症対策の切り札となるツール(検査法、治療薬、ワクチン)の研究開発を進め、国際協調による対策の要として総合調整にあたっています。本基金へのご寄付は、こうしたWHOの活動全体のうち、主に個人防護具の調達、検査施設の能力強化、疫学調査研究に使われています。下記(PDF)は[こちら](#)からダウンロードいただけます。

WHO「戦略的準備と対応計画」が目指すもの 以下データは2020年6月3日現在の実績

1 各国が新型コロナウイルス感染症に備え、対応できるよう支援

2 研究開発の促進

3 感染拡大状況の把握、対応、リスク軽減のための世界的な調整

個人防護具 (PPE) の調達
(135カ国への輸送用)

- ガン 400万枚
- ゴーグル 300万個
- フェイスシールド 1100万個
- N-95 スプレーヤーマスク 1800万枚
- 手袋 2800万セット
- 医療用マスク 1億3600万枚

“連携治験”の実施

- 3500人の患者が登録
- 100カ国以上が参加
- 35カ国の400以上の病院が参加
- 100万回以上が試験が実施
- 123万回以上が試験結果が共有

パートナー・プラットフォーム

- 143カ国が参加
- 25、116カ国が活動に活動
- 100名が参加者が参加
- 98のチャットリストが開始または完了
- 78のワンズセンターの稼働
- 203カ国による買収

検査施設の能力強化

- 100万以上のテストキットを129カ国へ
- 510万の手動テストの確保
- 305万の機械テストの確保
- 135カ国が受注の用意完了

すべての人が利用可能なツールの研究開発

- 世界のリーダーと共に、国際的な枠組みの立ち上げ
- ACT Accelerator：ワクチン、検査法、治療法の開発
- C-TAP：医療技術へのアクセスのツール

世界中に専門家を配備する

- 100以上の救急医チーム
- WHO GDMN(地球規模感染症に対する準備と対応ネットワーク)に参加する59人の専門家、27の組織
- アゼルバイジャン、エジプト、イラン、イラク、中国、イタリヤに調査団を派遣

ガイダンスと研修

- 130以上の専門的ガイダンス文書
- WHOによるオンライン研修プラットフォーム「OpenWHO」
 - 90コースを公開
 - 120のイベント
 - 29言語で公開
 - 300万人以上が参加
- 電子アプリ：WHOのカフェー

WhatsApp, Facebook, Viberなどのソーシャルメディアや政府との協働により、誤った情報の拡散を阻止

グローバルなパートナーシップと分野を超えた協力
—WHOは以下の組織と協働しています

- 国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC)、国際移住機関 (IOM)、および国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) (難民希望者や避難民、難民のためのガイダンス)
- 国際農工会議所 (ILO) (迅速なサプライチェーンの問題への取り組み)
- 国際民間航空機関 (ICAO)、国際航空輸送協会 (IATA) (国内移動・国際移動についてのガイドラインの設定)
- 世界経済フォーラム (WEF) (民間セクターへの働きかけ)
- 世界貿易機関 (WTO) (人々の健康と生活の確保)
- PPE、診断、バイオメディカル製品の各コンソーシアム (調達)

#COVID19 #coronavirus #WHOImpact

ご寄付の詳細
www.who.int/covid19responsefund

参考資料③ <官民協働による資金調達の場合>

パンデミックとの闘いには官民の垣根を超えた資金協力が必要となっています。当基金は、個人や民間企業が直接 WHO やパートナーの活動に貢献できる唯一の場ですが、政府による新型コロナ対策に取り組む様々な国際機関や団体への資金集めの場として、民間が協力する例もあります。

● 欧州委員会と NGO 主催「グローバル誓約サミット&コンサート」(6月27日)

直近の例として、欧州委員会 (European Commission) は、5月28日に国際的な非営利団体「グローバル・シチズン」とともに、新型コロナウイルス対策に必要な資金を集めるための“Global Goal: Unite for Our Future”キャンペーンを立ち上げました。その集大成となるイベントが6月27日(土)に開催されます。



誓約サミット(中央ヨーロッパ時間午後3時(日本時間同日午後10時)とそれに続いて開催されるストリーミング・コンサートには、コールドプレイ、ジャスティン・ビーバー、クリス・ロック、ヒュー・ジャックマン、デヴィッド・ベッカム、ダイアン・クルーガーなどの豪華アーティストなどが出演するほか、有識者がパネルやインタビューで議論に参加します。このイベントで集められた資金は、新型コロナウイルスのワクチン、治療薬、診断法を開発し、世界すべての人に公平にいきわたるよう取り組む様々な国際的な組織への支援となります。その一つが本基金です。

主な支援先:

[Coalition for Epidemic Preparedness Innovations](#) (CEPI、感染症流行対策イノベーション連合)

[The Foundation for Innovative New Diagnostics](#) (FIND)

[Gavi, the Vaccine Alliance](#) (Gavi アライアンス)

[The Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria](#) (世界エイズ・結核・マラリア対策基金)

[COVID-19 Therapeutics Accelerator](#) (新型コロナ治療薬アクセラレーター・イニシアチブ)

[UNITAID](#) (ユニットエイド)

[WHO's COVID-19 Solidarity Response Fund](#) (WHOのための新型コロナウイルス感染症連帯対応基金)

[Global Citizen's International and Regional Response, Relief and Resilience Network](#)

(グローバル・シチズンの支援団体ネットワーク)

なお、4月に同NPOがWHOと共催し、レディー・ガガがアーティストたちに呼びかけオンラインで開催した「One World. Together at Home」チャリティーコンサートでは、2つのギネス世界記録を更新しました。リモートで開催された音楽祭として、1つには最多のパフォーマンスを行ったこと、もう1つは最多の計1億2790万ドルに達する寄付金を集めたことが認められたものです。集められた募金は「新型コロナウイルス感染症連帯対応基金」に寄付されました。

※同イベントの視聴について

新型コロナウイルス・グローバル・レスポンスの[ウェブサイト](#)や欧州委員会のソーシャルメディア・アカウント([YouTube](#))などでストリーミング配信される予定です。日本ではフジテレビ系列での放映も予定されています。詳細については、[欧州委員会による発表](#)(英語)をご覧ください。